

2022年度 学校評価公表シート

江別キリスト教学園 認定こども園 若葉幼稚園

本園では、キリスト教の精神に基づいて保育を整えたいと願い活動を重ねている。乳幼児が、神からあたえられた尊い命を生きる、成長の力を秘めた「光の子」であり、目に映る事柄の背景に神の守りと導きを信じ、安心する心、感謝する心、優しい心が育っていくことを大切にしている。2022年度も新型コロナウイルス感染症による制約はあったが、基本的な姿勢を崩さずに歩むことができたものと受け止めている。

保育目標

- 1.神の愛を知り、神が共にいてくださることを知る。
- 2.神から与えられる命の尊さを知り、命を大切にする。
- 3.思いやりの心を持ち、友達にやさしくできる。
- 4.美しいものに感動し、自分たちも美しいものを作り出す。
- 5.自分の考えをはっきり述べ、友達の生活も大切にする。
- 6.全身を使ってのびのびと遊ぶ。

冬休みの期間に、職員に日々の保育を振り返るアンケートを実施した。

保育目標を日常的にどの程度意識しているのか、自らの職務に対しての理解と貢献度、ベースとなるキリスト教理解、などの自己理解を問うた。保育士、事務、給食の31名から回答を得た。もちろん、自己理解であり、各自の評価基準の差もある。このアンケートをもとに、職員の自己評価が集中している点を園長が読み取ってまとめ、内部評価委員としてPTA役員に検討していただいたものを、以下に提示し、2022年度の内部評価とする。

評価項目	取り組み状況	評価
保育目標の意識と、今後、強めたい項目など。	当然ながら、保育士は概ね高い意識で保育目標を認識している。保育目標の3, 5, 6は、意識される項目として選択される割合が高い。また、付加すべき目標として「自分が愛されていることに自信を持つ」「やりたいことに挑戦する」と指摘がある。自己肯定感を育てることを模索している意識がうかがえる。事務・給食では職務上、保育目標を意識すること自体に濃淡がある。わずかな機会でも園児と接する際には思い起こし、対応に生かすことが求められる。	B
業務計画と実践での充実について	保育士はそれぞれに充実感を得ている。各自で意識し達成できたこと、できなかったことに差があるのは当然だが、立場の差はあれ、計画的な取り組みについて意識的に共有する点が高まってほしい。事務職での計画と達成への充実度は高く、良い働きがなされた。給食食育担当からは、コロナでの計画変更を余儀なくされたことが残念だったとの指摘があった。	B

園児の様子 の把握について	<p>園児の様子についての観察は、皆それぞれの視点で行っている。すぐに気付くという保育士が多いが、読み解きが苦手という者もあり、今後のスキルの向上を期待する。</p> <p>今年度の園児の遊び方については、園庭(外)遊びが格段に増えたことによって、活発な遊びの展開が進められていることを驚きと共に受け止めている様子がうかがえる。これは、事務職においても同様である。給食スタッフは、見る機会がなく残念に思う。</p> <p>なお、「園児たちの中には、まだ大人の顔色を窺っている子もいる」との指摘もあった。指導者の許可が自由を制限していた反動だろう。</p>	B+
自己研鑽について	<p>各自がスキル向上を意識して情報を得る努力をしている。</p> <p>社会的な課題としてもSDG'sをはじめとして、人権問題、コミュニケーションの問題などに関心が深い。</p> <p>園内での情報伝達に不満の声もあり、今後の整備が求められる。日常的な会話が園児たちとのかかわりに反映するものとして、積極的行動や反応につながることを期待する。組織としての責任が問われるとしても、現場は指示を待っている間に合わないことも多い。自ら責任を持って判断する姿勢を高めてほしい。</p>	A-
建学の精神及び基本となるキリスト教理解について	<p>向き合おうとしながら、自分が知っている聖書物語の少なさや、どう対応するのがよいのかがわからずに漂っている感が強い。</p> <p>一方、人間の創造物語、ノアの箱舟といった旧約聖書の物語、放蕩息子のたとえ、良いサマリア人、迷える小羊、クリスマス物語など有名な個所を押さえている者が多い。感謝の心を育てることに注目している声も多く聞こえてくる。各自の命を大切に にする姿勢が重要であることが共有されている。</p> <p>事務職はそれぞれに思い入れのある聖書の言葉が取り上げられている。よく聖書を読み人生の課題を追求してほしい。</p> <p>また、個人的に触れた聖書の個所や、キリスト教的思想が反映された言葉に影響を受け励まされた、との報告もあった。さらに世界を広げてほしい。</p>	B+

上記評価は職員アンケートにおける各自の評価・受けとめをベースに、園全体のものとして園長がA～Dに再編評価したものを、評価委員会に点検いただいたものである。